

# 未来からの留学生

認定こども園あかみ幼稚園 園長 中田幸子  
認定こども園メイプルキッズ 施設長 長島弥生

今年度も残すところ1か月余りとなりました。園庭では今までにまして、元気な子どもたちの声が響いています。それぞれが大きく成長し、自信が増しているように感じられます。つくし組の子どもたちは、歩行もしっかりとし、自分の足で歩くことに嬉しさと誇らしさを感じているようです。もり組の子どもたちは、クラスの仲間と元気に活動し、子どもたちが計画したドッジボールクラス対決もこれから行うとのこと。これからも、楽しく充実した時間を過ごすことを願っています。



## かまたきを行いました！

22日～25日までかまたきが行われました。もり組・みちくさの子どもたちの作品、やきものサークル泥工房（でくのぼう）の方々、希望する親子の作品を窯で焼成しました。

火を止めた窯は、まだ熱く、すぐに作品は取り出せません。3月4日（月）に窯の口を開け、中から作品を取り出します。

さて、この窯は穴窯といい、名前はやけたろう。登り窯のような、作品を焼く部屋が数個つながっているのではなく、窯全体が一つの焼成室になっている古い形式の窯です。焼き物作りだけを考えたら、電気窯やガス窯でもよいわけですが、幼児期の子どもたちにとっての焼き物との出会いは、いたって原始的な穴窯が分かりやすく、教育的にも効果的だと考えます。小さい学年から泥遊びを重ねて、団子を作ったり、次第に形を作ったりして、水に濡れると溶けてしまう、乾燥したものを落とすと簡単に割れてしまうという粘土の性質にも気づいていきます。そして、薪をくべて焼くと、水に濡れても解けず、割れにくいもの（セラミック）になる、ということ、体験を通して学んでいきます。これらの一連の体験は、子どもたちにとって大切な学びの一つです。

薪割りや、当日のかまたきに、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



## あかみようちえんのキッズフェスティバルが行われました！

キッズフェスティバルは、当日はもちろんですが、そこまでの過程やその後を大切にしています。

3歳では、「自我の発見」。素敵な自分を見てほしい、見てもらったことで、自分自身を確認し、自分と他者への気づきを願っています。また、みんなと一緒に心地よさも感じてほしいと願っています。

4歳は、「自己肯定感」。ちょっと頑張ってみたらできた、自分って頑張るとできるんだな、という自信をつけてほしいと願っています。

5歳は、「合意の形成」。自分も大切、相手も大切にしながら、意見を伝えあい、お互いが納得して折り合いをなしていくことを願っています。劇のストーリー作りや、演じ方などで、時には意見がぶつかりあうことも経験しながら、協力して、一つの劇を作り上げていきました。

このように、あかみようちえんでは、それぞれの発達に応じた願いがあり、活動を通して成長を積み重ねていきます。自分も大切、相手も大切にしながら物事を進めていく体験は、今後の学齢期以降の人とのかかわりの基礎となっていきます。あかみ幼稚園を卒園した子どもたちは、自分の興味関心をもとに、探求したり、表現したり、そして人と調整したりしながら豊かに生活することができていると、卒園した園児の保護者の方々からよく聞きます。体験を通しての学びが、学童期以降、それぞれの形で花開いていることを知り、うれしく思います。



さて、今回は、放課後児童クラブみちくさの施設長 佐藤智恵より 新年度を迎える前に、「よいスタートを切るためのポイント」についてお伝えします。

春の陽気を感じられる日が増えてきました。新学期の準備を始めている方もいるでしょうか。特に4月から小学校へ入学されるもり組のみなさんは、「小学校ってどんなところかしら?」と期待半分、不安半分のことと思います。

今回は、毎年、入学直後の1年生とみちくさと一緒に過ごす中で、「大切だな」と思うことをお伝えします。もり組のみなさんに向けて書きますが、進級して新しい環境になる方もぜひ参考にしてください。

初めてのお子さんが入学される保護者の皆さんにとっては、小学校のことで分からないことが多く、何かと心配になると思います。しかし、子どもは順応性が高いので、友だちがすぐにできますし、学校生活にも徐々に慣れて、楽しく過ごすことができます。とはいえ、園とは違う環境で過ごし、小さい体と脳はフル稼働。疲れがみられることもありますので、4月・5月は、少しお子さんの生活のペースに合わせることをお勧めします。

## \*たっぷり睡眠時間

元気に登校し、学校で楽しい時間を過ごすためには、“睡眠”が大切。十分な睡眠時間が体や脳の疲れを回復します。小学1年生の睡眠時間の目安は9~10時間と言われています。夜更かしや睡眠時間が短いことが、情緒や学力に影響するというデータもあるほど睡眠は大切です。ぜひ、早く寝る習慣をつけてください。保護者の方も添い寝をして一緒に寝落ちするのもいいものですよ。「やり残したことがあるな〜」と思うことがあっても、この時期は、時々手抜きと睡眠重視で子ども時間にシフト!

## \*スキンシップで幸せホルモン

みちくさの子どもたちの中には、学校から帰って来ると職員に体を寄せてくる子がいます。そんな時は、軽く抱きしめ返したり、背中をトントンしたりすることで、安心して遊び始めます。ご家庭でも、新たな環境でがんばってきたお子さんとたくさんスキンシップを取ってください。ぎゅっと抱きしめると幸せホルモン“オキシトシン”が出て、エネルギーが充電されます。「じゅーでーん」や「だいすきだよ〜」と言葉にするのもいいですよ。また明日から学校でがんばる力になり、元気に過ごせること間違いなし!大人も子どもからエネルギーをもらえます。

## \*ゆっくり見守り

周りのお子さんと比較して、出来ないことに目が行ってしまい、「小学生になったのに」と、つい口調が厳しくなったり、イライラしてしまったりすることがあるかもしれません。みちくさで子どもたちの様子を見てみると、1年生~3年生ぐらいの子どもの成長は、個人差が大きく、1年生が出来て3年生が出来ないということも結構あります。出来ないことがあっても、これから様々な経験をすることで、少しずつ成長していくので心配ありません。ぜひ、お子さんの成長を、楽しみながら見守ってください。それでも、もし心配なことがある場合は、一人で悩まず、学校や園、私たち学童にぜひ相談してください。



## 保護者会の組織、係がより良いものへ・・・



メイプルキッズ、あかみようちえんの保護者の方で構成されている「保護者会」。

多様な家族の形態がある中で、「安心して子どもを産み育てられる社会」「子育てしやすい園づくり」を目指して、園の基本的な考えをお伝えした上で、本部役員さんと園とが議論を重ね、令和6年度に向けて、保護者会組織を一部改訂しました。その内容は、3月2日の役員会でお話する予定です。具体的な内容は、役員会たよりで伝えられますので、そちらをご覧ください。

これからも、園と保護者会とが、より良い関係を築きながら、子どもたちのために力を合わせていきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願ひします。